

伊勢原市立大田小学校にて租税教室を開催

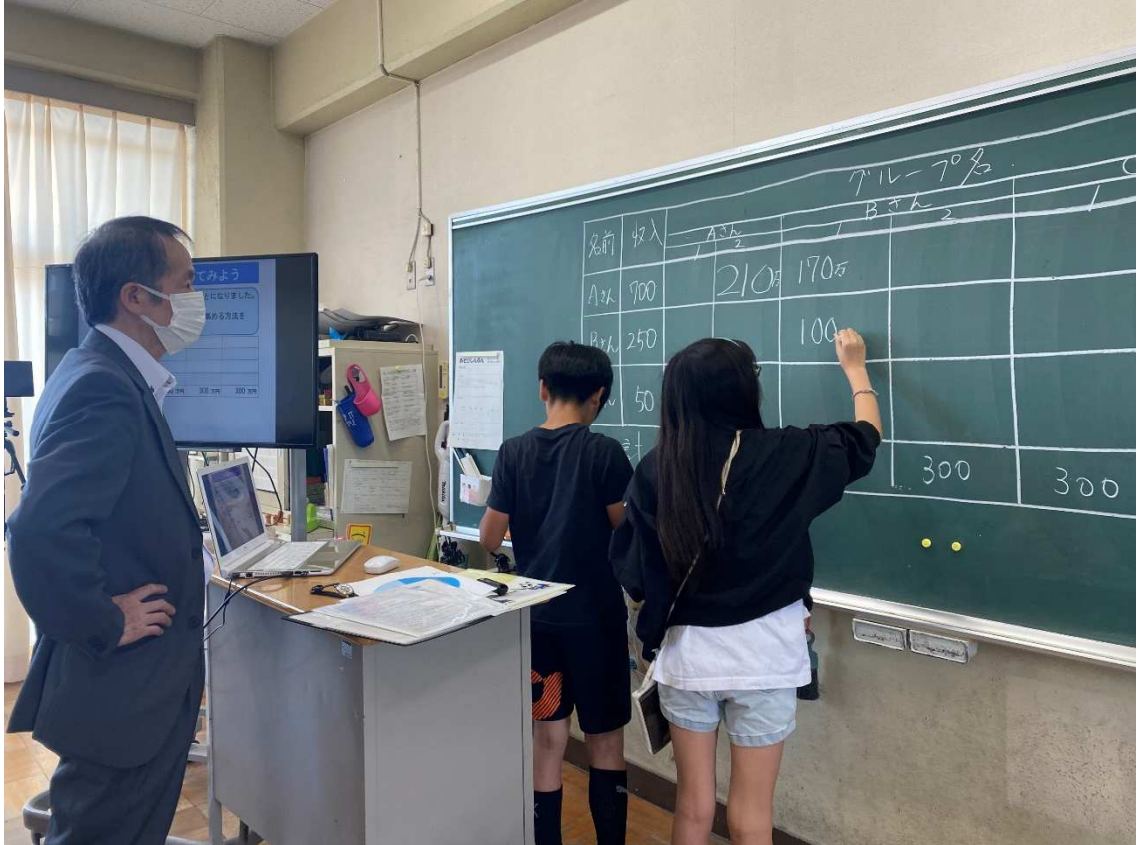
租税教育推進部長 今村泰之



令和6年5月30日に、伊勢原市立大田小学校6年生向けに租税教室を開催しました。今回は、仮屋崎かな会員に講師を務めていただき、3クラスに授業をおこなっていただきました。さきに社会の授業で、税金を学んだばかりだそうで、どのクラスも、諸外国の国旗、その国の消費税の税率、または、税金で賄われる公共サービス等を当てる問いかけなどに積極的に答え、興味をもって授業を受けていただけたと思います。また、毎回持ち運びが大変なレプリカの1億円には、どの子どもとも関心が高く、授業終了後に、男の子も、女の子もひとりずつ持ち上げて、とても喜んでいただけました。

秦野市立南が丘小学校にて租税教室を開催

草山 悦子



令和6年6月5日に、秦野市立南が丘小学校の6年生を対象に、小泉重治会員を講師として、租税教室が行われました。今回は、収入や家族構成の異なる3人から、「公平に税金を集めてみよう」という課題で、初めてグループワークを取り入れた授業となりました。色々な意見が出て来ましたが、税金は、「収入と家族構成に配慮して」、「全ての人が負担する」という考え方を持っている児童が多く、税金を納めることにネガティブな意見を持っている児童が少ないことに驚かされました。また、「税理士になるのは難しいですか」という質問もあり、税理士という職業に興味を持ってくれたことを感じられるような、嬉しい場面も多々ありました。児童参加型の授業は、講師の負担も大きく、学校により向き不向きもあるかとは思いますが、子供達の考え方を直接に聞くことのできる良い機会となりました。